



建築技術性能証明書

技術名称：Hyper-MEGA 工法
－プレボーリング拡大根固め杭工法－（改定2）

申込者：ジャパンパイル株式会社 代表取締役 黒瀬 晃
東京都中央区日本橋箱崎町3番2号
日本コンクリート工業株式会社 代表取締役社長兼COO 土田 伸治
東京都港区芝浦四丁目6番14号NC芝浦ビル

技術概要：本技術は、既製節杭を杭先端に用いたプレボーリング拡大根固め杭工法であり、要求される杭の支持性能に応じた設計が可能となるように、拡大掘削部の直径を拡大根固め部に位置する節杭における節部径の約1～2倍の範囲で任意に設定でき、さらに、杭周充填液として膨張材を使用したもの（膨張型）と使用しないもの（標準型）の2種類を選択できるようにしている。

なお、本工法の地盤から定まる押込み方向の許容鉛直支持力に関しては、国土交通大臣の認定：TACP-0210～0215（平成18年5月15日）および財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-05-23A-002～004（平成18年3月15日）、国土交通大臣の認定：TACP-0357～0362（平成23年10月18日）および財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-10-231A-003～005（平成22年8月23日）、国土交通大臣の認定：TACP-0527～0532（平成29年12月12日）および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-17-231A-004～009（平成29年9月7日）を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたいの地盤から決まる引抜き方向の支持力に関するものである。

開発趣旨：本技術は、拡大根固め部下端から上方に2m以上で杭長の50%以下の部分を拡大掘削するとともに、拡大根固め部に節杭を用いることで、支持力の向上を図った杭工法である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2018年6月6日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 井上 一郎

記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料1：Hyper-MEGA 工法 性能証明のための説明資料

資料2：Hyper-MEGA 工法 設計基準

資料3：Hyper-MEGA 工法 施工指針

資料4：引抜き試験および載荷試験資料

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料2は、本技術の設計基準であり、支持力算定式などの設計方法が示されている。

資料3は、本技術の施工指針であり、施工方法および施工管理方法などが示されている。

資料4には、資料1で用いた個々の引抜き試験および載荷試験結果報告書などが取りまとめられている。

また、付録として、説明資料中の参考文献が示されている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、単杭としての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「Hyper-MEGA 工法 設計基準」および「Hyper-MEGA 工法 施工指針」に従って設計・施工された既製杭の引抜き方向の許容支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限周面摩擦力は、同設計基準に定める支持力算定式で適切に評価できる。